

同窓会報



発行 〒 992-0039 山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会 事務局 TEL0238-22-0091 FAX0238-22-0092



同窓会寄贈によるスクールバス

皆様と共に

同窓会長 鈴木 京子

同窓生の皆様には、日頃より同窓会活動に
対しご理解とご協力を賜わり心より感謝致し
ております。

長びくコロナ禍の中、思うように活動がで
きていないものの、今回の役員会では出席の
皆様からさまざまなお意見を頂くことができ、
今後の活動の方向性が見えてきたように思
います。今までの活動内容を見直し、新しいア
イディアを出し合いながら、実現に向けて少
しずつ進んで行きたいと思えます。

昨年は九里学園創立一二〇周年を迎えま
した。同窓会としましても何か記念になるもの
をと考えていましたところ、学校から『スク
ールバス』購入のお話があり、理事役員会の承
認を得て、学校バス購入費として寄付致しま
した。生徒さんたちの通学をサポートし、放課
後もバスがあることで時間を有効に安全に
使ってくださいれば、同窓会の目的である、『生
徒さんたちを応援する』ことができ、勉強や
部活動でのお役に立てることができると期待
しているところでです。

同窓生の皆様にも、時折母校に思いを馳せ
足を運んでいただけるような時代に沿った活
動を展開していきますので、今後とも皆様
のご協力をお願い申し上げます。

QRコードで九里学園の情報を見ることができます。



同窓会

九里学園 SNS



九里学園HP



Instagram



Twitter



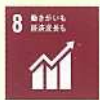
フェイスブック

男子卒業生の応援にも期待

学校長 九里 廣志

大選暦の一二〇周年、大々的にお祝いしたかったのですが、このようなコロナ禍、そして校内でのクラスターも発生して、静かに過ごしたのです。今はこの「伝統を、新しい力に変えて行く時期」と思っており取り組んでいます。本校の新たな動きは「地域と協働して取り組む探究の九里」です。グローバル化した世界の将来を見据え、SDGsを基本に置いて取り組んでいます。平和をめざす持続可能な世界でなければ未来はないからです。置賜の地域でより、日本の各地の同じ動きをしている学校や、進学した大学の先生たちなどから評価されるほどの、確実な実績を上げています。生徒たちの部活動も頑張っています。今年も陸上部は楽しみです。先日日本選手権U20の400mハードルでは、三年の紺野稜真が日本一に輝きました。陸上部は45年連続【実質46年】のインターハイ出場。応援お願いします。

そろそろ「男子の卒業生たちに学校を応援する中心に立っていただく時代」に入ってきました。同窓会もWithコロナで動く時期です。笑顔の出会いを待っています。



学園近況

快適なスクールライフ

教頭 高橋 左和明

生徒らの通学をより快適にするため、令和二年度より「スクールバス」の導入をはじめました。「サイトシーイング蔵王」さんのご協力の下、現在は「小国・川西」ルート、「白鷹・長井」ルート、「南陽・高島」の三つのルートで運行をしています。スクールバスの利便さは言うまでもなく、自宅近くから学校まで、天候に左右されなくほほ時間通りに送迎してくれることです。また、乗車中は自席で学習や読書など、時間の有効活用やリラクセスしての登下校が可能となります。それまで、米坂線や奥羽本線の利用生徒らは、駅からさらに徒歩か自転車登校しなければなりません。そんな不便さからより快適で安全に登校できるスクールバスの利用生徒数は年々増加しています。

そんな中、昨年度の創立一二〇周年を迎えた折、なんと同窓会から「大型バス」を寄贈していただきました。誠にありがとうございます。これにより、さらに多くの生徒が利用できるようになりました。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ先の見解ではありませんが、それでも今年度は今までで中止になっていた学校行事なども、感染防止対策を万全にした上での実施が可能となりそうです。学校生活での生徒の笑顔がますます増えていくことを願います。



皆様
お久しぶりです



アポなしで「私を採用して下さい」

平賀 秋夫 先生

九里学園同窓生の皆さん、お元気で過ごしてでしょうか。私も平成十九年に退職して間もなく八十歳になろうとしています。この間少くない先輩や元同僚が他界しました。角川書店の「日本地名大辞典」の執筆陣に名を連ねた斉藤清一氏をはじめとして、民生委員として主に東部地区で活躍した大野崇氏、五十年を優に超える勤続年数の中でハンドボールの指導や進路指導に尽力された五島訓二氏、

書道の須藤喜美子氏、バドミントンの伊藤勉氏、いつも迫力満点の斉藤佳子氏など、皆特色豊かな人々でした。こうした中で九里茂三先生が平成二十九年十二月に亡くなられたことは、私にとってはまだ記憶に新しい出来事です。「九里先生に御別れの会」の中で、私と遠藤岩根氏が、参会者全員にお配りする冊子「九里茂三先生を偲んで」を作成する担当となり、先生の若い時代から九十七歳までの著作や写真等に直に触れながら九里先生の大きな足跡に思いをはせました。特に平成十五年に受賞した「ペスタロッチャー教育賞」は子供達への限らない愛と慈しみを注いだ九里先生にぴったりの賞ではなかったか。まさに米沢教育の歴史に大きな一歩を築いたと思います。

昭和四十一年の秋、私は「私を採用してください」とお願いすべく、失礼にもアポなしで九里先生を訪ねて以来四十年もの長い間九里学園にお世話になりました。今でも九里学園の夢をよくみます。若い時の私は未熟者で今思っても恥ずかしいことばかりです。

グローバル探究について

精 木 鈴 教頭

現在、本校の探究学習の柱として、グローバル・ラーニングという独自の授業を展開し、これからの社会を生き抜くに必要な資質・能力の育成に努めています。

グローバルαは「貧困・食糧問題・環境問題・難民」などのグローバルな社会課題について、模擬国連などにも取り組みながら実践的な政策提言を行う課題解決型探究学習であり、グローバルβは、高畠町との協働による地域創生に関するものや、米沢市国際交流協会との協働による多文化共生についてのプロジェクト型学習をベースに、ローカルな問題についての課題解決型探究学習を行い、個別最適化された学びを提供しています。

これにより、生徒の知的好奇心が醸造され、向学心が養われ、学びの器が大きくなっていくサイクルが生まれております。何より、自分の学びが価値のある、意義のある学びだと実感できる「真正な学び」が実現できています。

その効果は進学実績にも表れ、昨年度は山形大学や福島大学のほか、慶應義塾大学、早稲田大学といった最難関私大への合格者も出ております。今後もさらなる飛躍を目指し、新しい教育を追及していきます。



グローバルワークショップ

ローカル探究 成果報告会

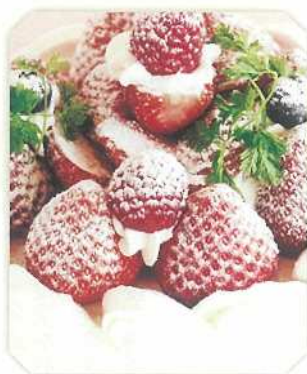
がんばる同窓生

救急救命士めぐりつ

卒業生 芳賀 優亮



私は、米沢消防署城西分署に勤務し、救急係として働いています。米沢消防署は、消防係、救助係、予防係、救急係に分かれています。救急係では、119番通報で救急要請した傷病者を容態に合わせて処置をしながら医療機関まで搬送します。また、国や県から救急統計の調査依頼を受け、その統計の集計を行うなど、実践の現場活動から事務仕事まで、幅広い仕事内容となっています。私は消防士となつて十年目となり、小さい頃からの目標でもある救急救命士になるため、日々経験を積んでスキルを磨いていきます。簡単なことではありませんが、地域の方々から感謝されることにやりがいを感じ、精進しています。これからも自分の目標に向かって突き進んでいきたいと思えます。



生涯現役

卒業生 佐藤 千秋

昭和五十三年卒佐藤千秋と申します。この度は創立一二〇周年おめでとございます。卒業して四十五年も経ってしまったとは思えません。九里とみ先生の銅像の掃除をしたり、全員で毎日床磨きなどの思い出がついこの間に思えます。

私は米商の隣の「梅花堂菓子店」に嫁ぎ早三十七年になります。お陰様で沢山のお客様に支えて頂き、創業一〇〇年を迎える事ができ毎日感謝しております。何も出来ない私ではありますが、日々明るく元気に前向きに心のこもった接客を心がけて仕事をしてまいりました。

長男長女が家業を継いでくれたので、早朝にはウォーキング、夜には読書と、ストレスを溜めず楽しみを見つけ、義母の様に生涯現役を目指したいと思えます。

委員会紹介 *図書委員*

司書 遠藤 千沙子

年間を通し、行事をはじめ読書PR活動を活発に行っています。生徒に読書に親しんでもらえることを目標に、生徒目線の企画立案をしています。立案に携わる役員は、ときにアイデアが出ずに苦労しながらも「どんな本なら興味を持ってもらえるか？」等と工夫して立案しています。活動は大きく2つあります。

①広報活動「テーマによる読書PR」

様々な本に興味をもってもらえるように読書PRを行っています。カラフルな掲示物でのPR、プリントによるPR（PRプリント「プリムローズ」、冊子「図書館だより」等）、棚コーナーでのPRと様々な形でPRをしています。形を変えてPRすることで、少しでも生徒の目にとまる機会を増やせればと思っています。



②行事運営「九里祭展示」

テーマを決め、調べた知識を紹介しつつ、テーマのイメージで装飾をした展示を作ります。前年度から少しずつ計画し、夏休みを中心に準備を行います。



他にも、行事「百人一首かるた会」「クラス読書討論会」があります。これらの活動は長年先輩から後輩へ引き継ぎ、繋いでいけたからこそ、今の委員会活動があると言えます。コロナ禍で制限がある中の活動が続きますが、これからも委員自身が本に親しみ、九里生に少しでも興味を持ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。

同窓生の皆様こんにちは。昭和六十年四月よりこの学校の教員として勤めております大滝と申します。勤めた当初は卓球部の顧問として平成十七年までインターハイ十四回出場など取り組んでおりましたが、生徒指導課長になってからは部活動顧問も離れ仕事に従事しておりました。平成二十六年から以前強豪校であったスキー部の、特にアルペン競技の顧問として活動することになり、優秀なコーチ、後援者の皆様に支えられ現在は、全国大会でも上位に進出する強豪校に仲間入りすることができました。クロスカントリーも佐藤貞雄監督のもとインターハイや国体で入賞し、ナショナルチームに選ばれている選手も輩出しております。近いうちオリンピックに九里学園出身の選手が出場するのではと楽しみにしています。さて、令和三年度のアルペン競技について簡単に紹介いたします。冬期山形県高校総体においては、新聞など

スキー部

顧問 大滝 勤

部活動紹介

の報道でご覧になった方もおられると思いますが、連日九里学園高校の選手が話題となりました。実際に回転競技の二年生女子が優勝し、その勢いで東北大会も優勝、三位入賞などの成績を上げました。インターハイでは回転競技で入賞し全国高校選抜でも入賞することができました。

令和四年度は最上赤倉スキー場でインターハイが行われ、次年度の令和五年度には同スキー場で国体がおこなわれます。アルペン競技選手たちは、その地元開催インターハイ・国体で日本一になるために日々努力を重ねています。今後とも応援よろしくお願いたします。



北海道合宿の様子



全国高校選抜で入賞した二年佐藤穂さんと大滝

令和4年度一般会計収支予算書

〈収入の部〉				
項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰越金	286,296	502,151	△215,855	
入会金	106,000	136,000	△30,000	R3年度卒業生 106名×1,000円
終身会費	530,000	680,000	△150,000	R3年度卒業生 106名×5,000円
事業収入	992,629	0	992,629	名簿事業収入
雑収入	75	349	△274	銀行利子等
基本金繰り入れ	0	0	0	
合計	1,915,000	1,318,500	596,500	

(△:減収)

〈支出の部〉				
項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
運営費	375,000	435,000	60,000	
事務費	55,000	55,000	0	事務用品、任命証用紙、紙等
通信費	60,000	50,000	△10,000	ハガキ、切手、郵送料等
交通費	10,000	10,000	0	
会議費	50,000	30,000	△20,000	役員会、準備委員会等のお茶、お菓子代
人件費	150,000	240,000	90,000	会報封入作業、名簿管理
慶弔費	30,000	30,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	広告掲載料、式典花等
事業費	1,540,000	883,500	△656,500	
総会経費	100,000	100,000	0	チラシ、謝礼、懇親会諸経費
会報発行費	450,000	450,000	0	会報印刷、送料
音楽会案内経費	0	0	0	
支部活動補助	30,000	30,000	0	
九里祭参加	0	0	0	作品展経費、謝礼
ホームページ管理費	14,000	13,500	△500	サーバ及びシステム使用料、ID管理料
基本金繰り入れ	900,000	250,000	△650,000	
予備費	46,000	40,000	△6,000	
合計	1,915,000	1,318,500	△596,500	

(△:超過)

令和4年度基本金収支予算書

項目	収入額	支出額	備考
繰越金	6,400,000		
一般会計から繰り入れ	900,000		
次年度への繰越金		7,300,000	
合計	7,300,000	7,300,000	

令和4年度事業計画

- 5月3日(火)9:30~ 三役会(理事会に関する審議)
- 5月20日(金)18:00~ 理事役員会(会計監査・事業計画・役員会に関する審議等)【校内会議室】
- 4月~7月 会報編集会議「同窓会報65号」
- 5月23日(月) 役員会案内状発送準備・集計・役員会準備等
- 6月25日(土)10:00~ 同窓会役員会【共用7】
- 7月 理事役員会(役員会振り返り・新事業取組について等)
- 8月 会報発送「同窓会報65号」
- 9月~10月 名簿整理
- 11月~翌年3月 会報編集会議「同窓会報66号」
- 令和5年 2月 日() 同窓会入会式(令和4年度卒業生)【校内センターホール】
- 4月 日() 会計監査【校内応接室】

編集後記

新型コロナウイルスと共に過ごす三度目の夏になります。三密を避けマスクを着用する、様々な取り組みがなされてきましたが、いまだに収束の兆しは見えません。同窓会報の編集会議も、感染者の増加を受け集まるのが難しい時期もあり、思い通りにはいかない中の発行になりました。一日も早く以前のように集えるようになると思います。(鈴木里佳)

令和3年度一般会計収支決算書

〈収入の部〉				
項目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	502,151	502,151	0	
入会金	136,000	136,000	0	R2年度卒業生136名×1,000円
終身会費	680,000	680,000	0	R2年度卒業生136名×5,000円
事業収入	0	0	0	
雑収入	349	1,266	917	銀行利子等
基本金から繰り入れ	0	3,000,000	3,000,000	
合計	1,318,500	4,319,417	3,000,917	

(△:減収)

〈支出の部〉				
項目	予算額	決算額	増減	備考
運営費	435,000	326,042	108,958	
事務費	55,000	45,494	9,506	事務用品、封筒、紙
通信費	50,000	20,688	29,312	ハガキ、切手、郵送料等
交通費	10,000	0	10,000	
会議費	30,000	8,142	21,858	役員会、準備委員会等のお茶、お菓子代
人件費	240,000	88,500	151,500	
慶弔費	30,000	104,918	△74,918	香典5、生花3、弔電3
雑費	20,000	58,300	△38,300	掲載料(創立120周年記念祝賀掲載 山形新聞朝刊)
事業費	883,500	3,707,077	△2,823,577	
総会経費	100,000	42,098	57,902	チラシ、謝礼、懇親会諸経費
会報発行費	450,000	401,361	48,639	印刷費(153,120円)No.64×4,000部 郵送料(244,501円)
音楽会案内経費	0	0	0	
支部活動補助	30,000	0	30,000	
九里祭参加	0	0	0	
ホームページ管理費	13,500	13,618	△118	サーバ及びシステム使用料、ID管理料
基本金繰り入れ金	250,000	3,250,000	△3,000,000	学校法人九里学園への寄付(バス購入)
予備費	40,000	0	40,000	
合計	1,318,500	4,033,119	△2,714,619	

(△:超過)

差引残高 実収入(4,319,417円) - 実支出(4,033,119円) = 286,298円を次年度へ繰り越す

〈監査報告〉

一般会計収支決算書に基づき、関係諸帳簿を監査したところ、きわめて正確に処理されていたことをご報告いたします。

令和4年5月2日

監事 佐久間綾子
監事 鈴木里佳

なお、原本では自筆署名・印をいただいております。

れんらく板

- クラス会やOB・OG会があった場合は、同窓会事務局にお知らせ下さい。
- 学園に関するもので貴重だと思われる、冊子や思い出の品などを御寄贈下さい。
- 卒業生の活躍の情報を教えて下さい。特に男子卒業生の情報をお知らせ下さい。

連絡先 九里学園同窓会事務局
☎0238-22-0091
同窓会事務局 若林 まで